

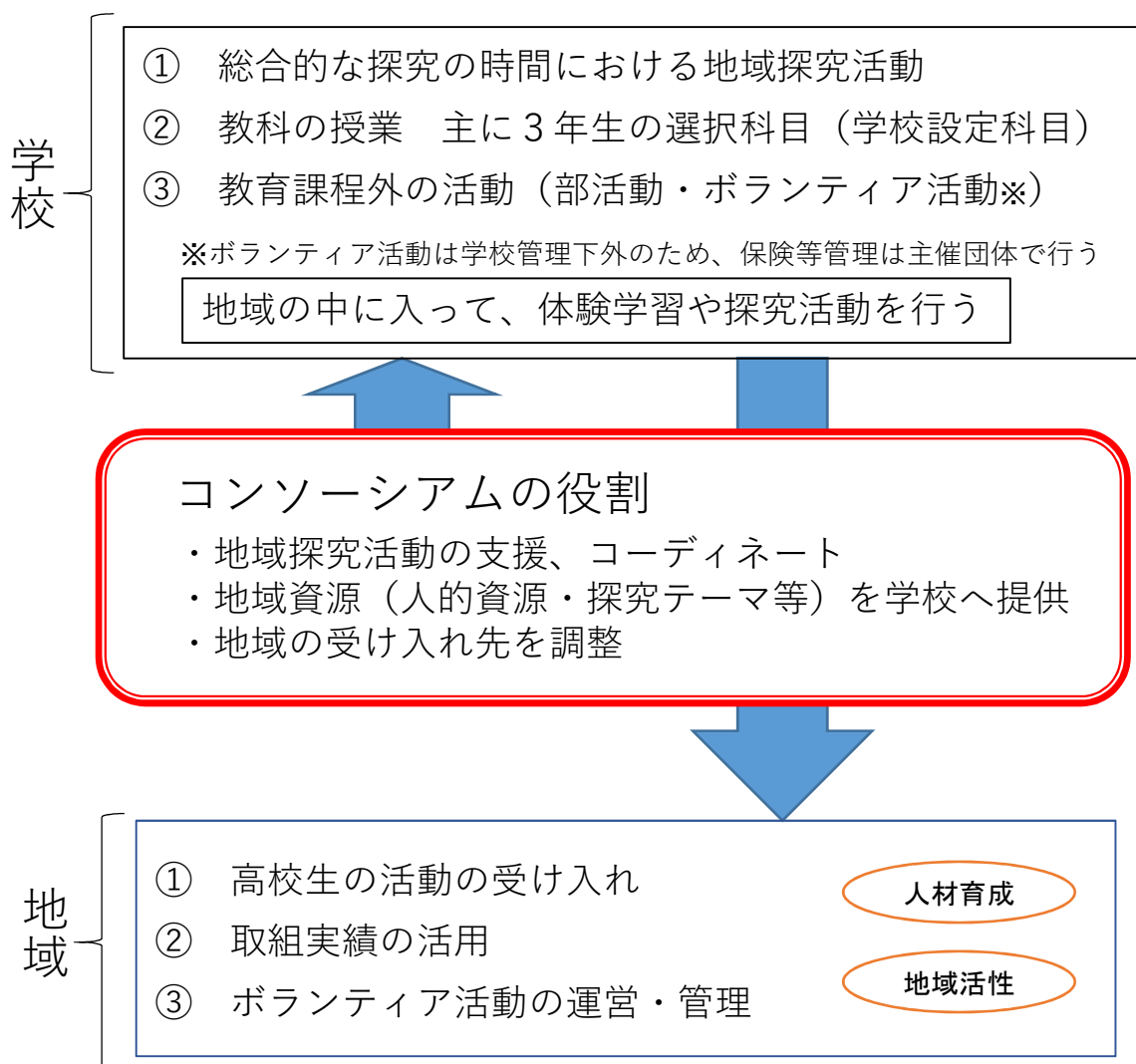
# 越後妻有地域連携 松代高校コンソーシアム

## 第1回総会 資料

- 1 コンソーシアムの役割概念図
- 2 コンソーシアム規約
- 3 委員名簿
- 4 越後妻有まつだい学全体計画
- 5 松代高校の地域探究活動報告



## 越後妻有地域連携 松代高校コンソーシアムの役割概念図



### 取組実績の活用例

高校生の活動をモデルに！  
☆地域魅力の発信・開拓  
☆商品の開発・宣伝

地域の活性化を促進する目的を持って、  
高校生の活動を提案・支援する

## 越後妻有地域連携 松代高校コンソーシアム規約

### (名称)

第1条 本コンソーシアムの名称は「越後妻有地域連携 松代高校コンソーシアム」(以下「コンソーシアム」という。)とする。

### (目的)

第2条 コンソーシアムは、新潟県立松代高等学校(以下「松代高校」という。)が地域と連携した教育活動を円滑に行うために必要な支援を行うことを目的とし、地域に貢献する人材の育成や、地域活性化に寄与することを目指す。

### (協働事業)

第3条 コンソーシアムは、前条の目的を達成するため、次の協働事業を行う。

- 一 松代高校における地域と連携した特色ある学校づくりに関すること
- 二 松代高校と協働する地域体制に関すること
- 三 その他本会の目的を達成するために必要な取組に関すること

### (組織)

第4条 コンソーシアムは、学校と越後妻有地域(新潟県十日町市、津南町を「越後妻有地域」という。)の多様な関係者や団体などにより組織する。

2 コンソーシアムには、協働事業の方針を協議する「総会」を置き、会長は必要に応じ具体的な協働活動を行う「ワーキンググループ」を置くことができる。

### (役員)

第5条 コンソーシアムに、次の役員を置く。

- 一 会長1名
  - 二 副会長2名
- 2 役員任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 会長、副会長は、まつだい地域振興会長、松之山自治振興会長の互選によりこれを定める。また、松代高等学校長を副会長とする。

### (会長、副会長の職務)

第6条 会長は、会務を総理し、コンソーシアムを代表する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故等があるときは、その職務を代理する。

(総会)

第7条 コンソーシアムの総会は、通常総会及び臨時総会とする。

2 通常総会は毎年度1回開催するものとし、臨時総会は会長が必要と認めたときに開催する。

(総会の役割)

第8条 総会は、松代高校の地域と連携した教育活動や第3条に掲げる協働事業について、共有・振り返り・熟議することで、第2条の目的を達成するため協議を行う。

(ワーキンググループ)

第9条 ワーキンググループは、コンソーシアムの協働活動の場とする。

2 ワーキンググループは、専門分野に関する意見を聴くため、委員以外の団体の参加を認めることができる。

(事務局)

第10条 松代高校に事務局を置き、コンソーシアムに関する事務を処理する。

〈附 則〉

この規約は、令和5年12月1日から施行する。

## 越後妻有地域連携 松代高校コンソーシアム

### 委員名簿

	団体	団体名	役職	氏名（敬称略）
1	自治会	まつだい地域振興会	自治会長	佐藤 實
2		松之山自治振興会	自治会長	樋口 一次
3	市町役所	十日町市役所松代支所	支所長 (兼地域振興課長)	樋口 彰
4		十日町市役所松之山支所	支所長 (兼地域振興課長)	高橋 明
5		津南町役場	観光地域づくり課長	村山 詳吾
6		十日町市役所松代支所 地域振興課	地域振興係担当	関谷 栄治
7	商工会	松代町商工会	会長	瀬沼 伸彦
8		松之山商工会	会長	高橋 主計
9		松代町商工会	事務局長	渡邊 康彦
10	市内団体	社会福祉法人 松代福祉会	理事長	鈴木 裕之
11		社会福祉法人十日町市社会福祉協 議会松代支所	支所長 (学校評議員)	本柳 学
12		NPO法人越後妻有里山協働機構	担当者 (学校評議員)	新井 沙織
13		一般社団法人里山プロジェクト	代表	小山 友誉
14		一般社団法人にいがた圏	探究・キャリア教育 コーディネーター	松井 千枝
15	後援会	松代高校後援会	会長	高橋 嵩一
16		松代高校後援会	地域連携コーディネーター	富澤 恵子
17	高校	松代高校	校長	今井 亮二
18		松代高校	教頭	佐藤 一正
19		松代高校	教務主任	和田 陽
20		松代高校	1学年主任	小林 忠輝
21		松代高校	2学年主任	佐野 裕
22		松代高校	3学年主任	中村 淳

県立松代高等学校「越後妻有まつだい学」全体計画  
総合的な探究の時間（地域探究）・3年次学校設定科目

★スクール・ミッション

【地域探究活動をとおして、地域社会の担い手として貢献できる人材を育成する学校】  
・教科や総合的な探究の時間、特別活動等、様々な場面をとおして、他者と協働しながら主体的に問題を発見し解決に向けた行動ができる力を育成する。  
・地域探究活動をとおして、持続可能な地域社会の担い手として貢献できる人材を育成する。

★グラデュエーション・ポリシー（R051115案）

- ①自ら考え、課題を見だし、主体的に判断して行動する力を育成します。
- ②多様な他者とコミュニケーションをとり、協働しながら課題を解決する力を育成します。
- ③地域への愛着と誇りを持ち、地域社会に貢献しようとする姿勢を育成します。
- ④自らの将来を主体的に思い描き、その実現に向けて努力し続ける力を育成します。
- ⑤社会の中で自立して生きていくために必要な基礎学力や規範意識を育成します。

学年 テーマ グランドデザイン	1 学年	2 学年	3 学年
	地域・自分・仲間を知る	地域課題解決型探究 探究成果の発表発信	自らの力で社会に 貢献・進路実現
学習目標  グラデュエーション・ポリシーをもとに段階的に設定	①自ら考え、課題を見いだせる。  ②多様な他者とコミュニケーションをとることができる。  ③地域のよさを知り、愛着を持つ。	①自ら考え、課題を見だし、判断して行動できる。  ②多様な他者とコミュニケーションをとり、協働しながら課題に取り組める。  ③地域の活動・行事に興味を持って関わろうとする。	①自ら考え、課題を見だし、主体的に判断して行動できる。  ②多様な他者とコミュニケーションをとり、協働しながら課題を解決できる。  ③地域への愛着と誇りを持ち、地域社会に貢献しようとする。
学習内容  現在の活動をもとに記載	地域探索 ・松代旧国道(5) ・松之山美人林(3)  地域体験活動 ・地域食体験(2) ・清掃活動体験(2) ・アクティビティ体験(3)  地域学習 ・講演会①～③(1,1,2) ・博物館訪問(2) ・産業学習(3)  プレゼン学習(2)	地域体験活動 ・インターンシップ(2,12,2) (松代・松之山地域含む)  地域探究 ・現地学習(2) ・意見交換会(1) ・地域文化比較(3)  探究成果発表(2)	【学校設定科目】  福祉施設実習、地域スポーツ実習（保健体育総合）  地域統計実習（教養数学） 観光ガイド実習（教養英語）
	課外ボランティア活動	課外ボランティア活動	課外ボランティア活動

( )内の数値は配当時間の目安

※「越後妻有地域連携松代高校コンソーシアム」と連携して、諸活動を実施する。

# 松代高校の地域探究活動報告

～学校だより「まつだい」の記事より～

1年 「地域」「自分」「仲間」を知る

## ①「地域探究コース」が活動を開始！



←【地元ガイドが説明】



【カールベクスさんのお話】→

今年度設置した「地域探究コース」の活動の第一弾として、4月11日(火)に1年生が「松代地域を理解する」ための活動を行いました。

地元ガイドの説明を受けながら、旧国道を散策し、地域の歴史と文化を学びました。

ドイツ人建築デザイナーのカールベクスさんからは、古民家の魅力について説明を受け、「古民家を壊さずに活用してほしい」との想いを伝えていただきました。生徒からは「松代にはよく来ていたが、こういう場所があるのは知らなかった。古民家の良さが分かった」との声がありました。

## ②棚田の里 松代の魅力と価値を学習！



【富澤恵子様の講演】

4月20日(木)、富澤恵子様を講師にお招きして、1・2年生対象の地域探究講演会を開催しました。

富澤様から「外国人や都市部の人々が松代の魅力を発見し、移住している」「人間には、自然豊かな地で生活したいという意識が遺伝子レベルにある」とのお話をいただき、松代の魅力と価値を学ぶことができました。

## ③松之山分校との交流活動を実施！



←【美人林の講話】

【松之山分校の体育館で松之山分校の生徒と一緒に】→

松代高校の「地域探究コース」では、松之山地域のフィールドも活用しながら、探究活動を行うこととしています。

4月26日(水)、松之山の「美人林」を学習する活動を、松之山分校の生徒と合同で行いました。

美人林を守る会(「森の学校キョロロ」学芸員)の小林誠様から、講話をいただき、雪国におけるブナ林の特徴や役割について学びました。

松代高校を代表して1年A組 村山慎弥さんは、「話を聞いてブナ林の面白さを知り、足を運んでみたくなった。ボランティア活動にも参加したい」と講師に感謝の気持ちを表しました。

## ④大学生との交流で地域探究の意義を学習！



【大学生による地域探究の講演】

5月23日(火)、新潟大学の3年生で、地域探究のプロジェクトに取り組んでいる、鈴木妃奈乃さんと山本愛佳さんを講師としてお招きし、1年生を対象に、地域探究に

関する講演とワークショップを実施しました。

本校では、今年度から「地域探究コース」を設置し、地域と連携した活動に取り組んでいるところですが、今回は、大学生が主体的に取り組むプロジェクトの概要についてお話をいただき、地域探究の意義や楽しさを教えていただきました。

鈴木さんは、松之山地域に入り、地元の方たちと一緒に自然と共生した米作りに取り組み、「地



域の人たちの人柄に触れ、地域が大好きになった」と、自分の体験についてお話しされました。



ワークショップでは、「松代地域の良いところは？」との問いかけに対し、生徒たちは、「自然が豊か」「食べ物おいしい」「大【大学生と一緒にグループワーク】地の芸術祭がある」「地域の人たちが温かい」など、松代の自慢をたくさん出していました。

さらに、**地域 × 自分 = 地域探究** の公式にしたがい、「松代地域の良いところ」と「自分の好きなこと、得意なこと」を掛け合わせ、「自分なりの地域探究」のアイデアを出し合いました。

生徒からは、「松代でロードレースを開催したい」「地域の魅力をインスタグラムで発信したい」など、様々なアイデアが出され、今後の探究活動にもつながる有意義な交流会になりました。

## ⑤十日町の衣・食・住について学び深める！



【博物館学芸員による解説】 5月17日(水)、1年生の地域探究活動の一環として、十日町市博物館見学を行いました。博物館の学芸員の方から解説をいただきながら、各ブースを回り、十日町の地理的特徴や、雪国での暮らし、織物の歴史、国宝の火焰型(かえんがた)土器などについて学習しました。

生徒はiPad(アイパッド)を持参し、写真を撮ったり、検索して調べたりしながら、十日町の衣・食・住についての学びを深めることができました。

それぞれのテーマについては、今後の探究活動でさらに深めていくこととしています。

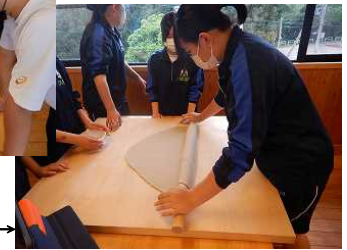


ワークショップでは、「松代地域の良いところは？」との問いかけに対し、生徒たちは、「自然が豊か」「食べ物おいしい」「大

## ⑥そば打ち体験で地元食文化の理解深める！



←【そばの達人からの指導】



【そば作りの工程を体験】→

6月22日(木)、1年生の地域探究活動の一環として、地元の食文化に触れることを目的とし、そば打ち体験に挑戦しました。

指導をしていただいたのは、「儀明(ぎみょう)山ごぼうそば」の皆さん。まつだい芝峠温泉「雲海」に隣接する「まつだい自然体験工房」で行われました。そば粉のほか、つなぎで用いる山ごぼうや山芋などの食材は、100%「儀明」産です。

達人からアドバイスを受けながら、原料の粉を混ぜ合わせ、打ち粉をし、平らに延ばすなどの作業をすべて行いました。

地域の方との交流をとおして食文化の理解を深めるとともに、そばを美味しくいただきました！



## ⑦十日町地域の現状と課題を学習！



7月25日(火)、十日町市役所の各担当の方々を講師としてお招きし、1年生が十日町地域の現状と課題について学習

【十日町市職員の方からの講義】しました。

文化観光課、産業政策課、農林課、建設課、福祉課の方からそれぞれ、十日町の織物や食文化、産業の現状、農業の現状、除雪の現状、福祉の現状などについて説明をいただきました。

また、職員の方たちは、自分たちがリターン、Iターンなどで十日町市の職員を選んだ理由について、お話をされました。

本校では、こうした探究活動を通じて、地域への愛着や地域に貢献できる力を育てていきます。

## ⑧松之山地域の自然や文化について探究！



←【地元ガイドと美人林を散策】

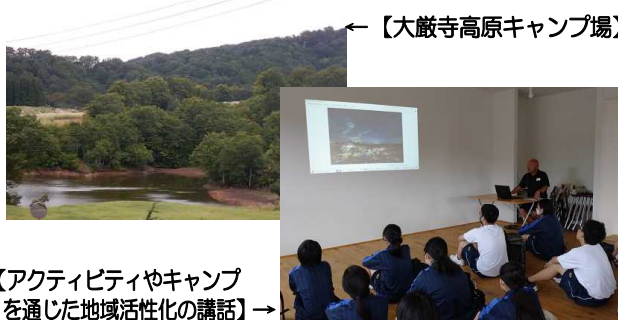
【森の学校キョロロで松之山の自然を学習】→

松代高校は、十日町高校松之山分校との統合に伴い、松之山分校の学びを引き継ぐこととしています。地域探究活動においては、松代地域だけでなく、松之山地域のフィールドも活用しながら取り組んでいます。

9月21日(木)、1年生が松之山地域を訪問し、地域の自然に触れながら、里山の保全や地域活性化について学習しました。

午前中は、「森の学校キョロロ」学芸員の小林誠様にガイドをしていただきながら、日本一美しいと称される「美人林」を散策し、ブナ林の特徴や保全について学習しました。さらに、森の学校キョロロで、雪深い里山における人々の暮らしや、生物多様性について学びました。

午後は、越後妻有大蔵寺高原キャンプ場へ移動し、管理人の村山英明様から講話をいただきました。「カヌーやSUPなどのアクティビティや、松之山温泉スノーパークにおける雪上キャンプが話題となり、地域活性化につながっている」とのお話を伺いました。松之山地域の自然や文化について理解を深める貴重な1日となりました。



←【大蔵寺高原キャンプ場】

【アクティビティやキャンプを通じた地域活性化の講話】→

## ⑨十日町市の産業について理解深める！

9月25日(月)、十日町市の「まちの産業発見塾」がクロスステンで開催されました。このイベントは、市内の中学生、高校生等を対象とし、地域を支える産業や企業を知り、体験する機会を設けることで、将来的な十日町市への就業、定着意識の醸成を図るものです。今年度は44の企業・団体が参加しました。



←【十日町地域振興局健康福祉部から点滴の説明】

【魚沼木材協同組合青年部組み立て作業体験】→

本校では1年生が参加し、各企業の事業内容を聴くとともに、体験活動を行いました。地元での就業意識を高めるよい機会となりました。



←【株式会社いつ和着物販売の説明】

【十日町地域ソフトウェア産業協議会プログラミング体験】→

## ⑩出前授業でライフラインの重要性を学習！



【管工事業の出前授業】

10月2日(月)、十日町市管工事業協同組合青年部の皆様が、本校1年生に対し出前授業を行い、水道の安定供給を支えていることや、仕事の魅力についてお話をされました。

青年部長の佐藤頌さんは、「当たり前のように水道の水を飲める国は、日本を含め世界で9か国しかない」などの説明を行い、生徒からは、「見えないところで生活を支えている仕事があると実感した」などの感想が寄せられました。



## ⑪地域おこし協力隊 松井さんが特別授業！



【松井さんによる特別授業】

本校では、今年度、「地域探究コース」を設置し、地域の方々と連携・協働した教育活動を行っており、9月からは、地域おこし協力隊（県採用：ニイガタコーポレーターズ）の松井千枝さんからもご協力いただきながら、取組を進めています。

11月6日(月)には、松井さんによる1年生対象の特別授業を実施しました。テーマは「頭がよさそうにプレゼンテーションする秘訣」。探究学習の発表等において、いかにも素晴らしいアイデアを話しているように見せて、相手を引き付けるための方法を伝授していただきました。

ヒントとなる動画を視聴した後、生徒は発表者の声のトーンや身振りなど、プレゼン力に何が必要かを考えるワークショップを行いました。



←【プレゼンのコツに関するワークショップ】

【代表のグループが話し合いの結果を発表】→

生徒からは、「ジェスチャーを入れる」「大事なところは大きな声で」「観客とコミュニケーションをとる」などの意見が出され、代表のグループが全体で発表を行ってアイデアを共有しました。

最後に松井さんからは、「目線を無限大∞の形に動かしながら、あちらこちらの観客を見る」「手振りをつける」「自身のありそうな顔をする」などのポイントを教えていただきました。

## 2年 地域課題解決型学習、探究成果の発表発信

## ⑫2年地域探究「まつだいプロジェクト」始動！



←【十日町の着物を体験】



【松茸太鼓を熱く演奏】→

本校では「地域探究コース」を設置し、3年間の探究プログラムに取り組んでいます。2学年では数人ずつのグループに分かれ、テーマ別の地域探究「まつだいプロジェクト」を実施しており、今年度は以下の4テーマに取り組んでいます。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| ①十日町織物                | (講師：木村喜郎さん) |
| 十日町織物の歴史を探究、着物の今後を考える |             |
| ②松茸太鼓                 | (講師：小島務さん)  |
| 犬伏集落の伝統芸能をどうやって守っていくか |             |
| ③松代の郷土料理              | (講師：山賀としさん) |
| 「いちよっぱ汁」など郷土料理や食文化の継承 |             |
| ④ホーリーバジル茶             | (講師：嶋村彰さん)  |
| 松之山での新たな農産業から地域振興を考える |             |

2年生は、各テーマについて学習した上で、8月4日(金)に講師へのインタビューを行うとともに、指導を受けながら体験活動を行いました。

2学期はそれぞれの課題をさらに深掘りし、3学期に発表会を行う予定です。



←【ホーリーバジルの花摘みを体験】

【いちよっぱ汁など、美味しくできました】→



## ⑬職業体験で地元企業への理解深める！



← 【まつだい保育園で保育実習】

【宇都宮製作所で機械部品加工】→

3年間の地域探究プログラムの一環として、8月2日(水)、3日(木)の二日間、2年生全員が地元企業への職業体験に参加しました。今年は以下の14社にご協力をいただきました。

イオンリテール株式会社イオン十日町
株式会社 宇都宮製作所
株式会社 きものブレイン
株式会社 松代そば善屋
株式会社 ミート・コンパニオン
株式会社 ラポート十日町 花&レストラン
コメリパワー 十日町店
社会福祉法人松代福祉会 ほくほくの里
社会福祉法人松代福祉会 まつだい保育園
ダイワ電気工事株式会社
十日町情報館
十日町農業協同組合 吉田倉庫
日帰り温泉 ナスビューウ湯の山
山の森のホテル ふくずみ

今回の職業体験をとおして、生徒たちは働くことの厳しさや楽しさ、やりがいを学ぶとともに、地元企業への理解を深めることができました。

企業の方からいただいた声も紹介します。

- 慣れない作業で大変だったかと思いますが、仕事に対する姿勢が一生涯懸命でした。お客様への挨拶も元気よく、大きな声でした。
- 楽しく作業をしていました。また、スタッフともしっかりコミュニケーションをとっていたので良かったです。
- 初日は緊張気味でしたが、二日目は仕事にも慣れ、自分で考えて行動しようと頑張っていました。



← 【十日町情報館で本の貸出業務】

【まつだいそば善屋で乾麺の製造と包装】→

## ⑭2年修学旅行に向け探究テーマを学習！



【添乗員による事前指導】

10月12日(木)、共立観光の添乗員をお招きし、2年修学旅行における京都での探究活動について、事前学習を行いました。

京都での班別研修では、現在取り組んでいる地域探究テーマに関連させて活動することとしており、現地での学習内容や訪問先について検討を行いました。各探究テーマは以下のとおりです。

- ①十日町織物 ⇔ 京都西陣織（織物の比較）
- ②松茸太鼓 ⇔ 祇園囃子（伝統行事の比較）
- ③松代の郷土料理 ⇔ 京の食文化（味付けなどの比較）
- ④松之山ホーリーバジル茶 ⇔ 宇治抹茶（茶文化の比較）

### その他 学年をまたいだ取組

## ⑮ITの専門家がプログラミングを指導！



6月13日(火)から、計5回にわたる「放課後プログラミング講座」を実施しました。

松代高校では、地域の方々と連携・協働した教育活動を進めており、今回は、地元に移住した現役プログラマーから直接指導を受け、プログラミングの基礎を学びました。

講師を務めるのは、スリランカ出身で、東京のIT企業の会社員、森川茶民（ちゃみん）さん。3月に松之山地区に移住し、リモートワークをしています。

茶民さんのご厚意により、この講座の開催が実現し、希望した12名の生徒が受講料無料で参加しました。



【分からないところは個別に指導】

Apple製品のアプリ開発で用いられるプログラミング言語「Swift」を使い、仕事を指示する「コード」を書くのが目標の一つ。



茶民さんからは、「プログラミングは、白紙から書く必要はないよ」「基本だけ覚えて、既にあるコードを参考に書いて書けばいいよ」とやさしく、丁寧に教えていただきました。

参加した生徒は、初めてのプログラミングに苦戦しつつも、分からないところを茶民さんに聞きながら取り組み、自分が指示したとおりの結果が出ると「面白い！」と喜びの声をあげていました。

茶民さんは、「プログラミングはどこにいても学べる。地方で暮らす子ども達にも教えたかった」と話し、意欲的に指導をしていただいています。

## ⑩「越後まつだい春の陣」運営をお手伝い！



6月4日(日)、「越後まつだい春の陣」トレイルランレースが開催されました。

このイベントを企画したのは、地域おこ

【ボランティア参加を募集】し協力隊として松代に移住した新坂志保里さん。この新坂さんからの要請を受け、松代高校の生徒が、レースの運営を手伝うためのボランティア活動に参加しました。レースのスタートとゴールは、まつだい農舞台。松代地域の里山をめぐる25キロのコースに、海外からの選手も含め、300名もの選手が集まりました。

本校の生徒は、大会スタッフの指示に従いながら、チェックポイントを通過する選手の番号を確認したり、ゴール後の選手を整理するなどの仕事を精力的にこなし、大会成功の一助となりました。



## ⑪「夢は必ず叶うのだ！」地域探究講演会！



【原伸介さんの講演会】

10月19日(木)、炭焼き職人の原伸介様を講師にお招きし、地域探究講演会を開催しました。原様は高校生のおとき、希望職業

を”仙人”と宣言し、周囲から笑われながらも夢に向かって走り続け、現在は山の中で仕事をする日本一の炭焼き職人として、本当に仙人のような生活をしていると話しました。生徒からは、「自分も夢に向かって一歩踏み出したい」との感想も寄せられ、大いに刺激を受けた様子でした。

## ⑫芸術の秋、探究の秋「雪穂祭」開催！



←【全校生徒で作成した巨大なドット絵】

【文化部や授業で制作した作品の展示】→

10月28日(土)、本校恒例の雪穂祭(文化祭)が盛大に開催されました。全校生徒で作成したドット絵のお披露目から始まり、「探究の松代」の文字が堂々と掲げられました。



←【キレイのダンスを披露】

【ユニークな視点の探究発表】→

新企画の探究発表で、3Aは「テスト前のゲームはなぜ楽しいのか」という生徒ならではの視点で探究を行い、全校生徒の86.8%がテスト期間中にゲームをしているという驚きの調査結果を報告！ストレスと関連させて考察を行いました。

ダンス発表では、各クラスのパフォーマンスに会場から大きな拍手が巻き起こりました。



←【地元弦楽合奏団の生演奏】

【優勝の3Aに中村PTA会長から賞品のお菓子を贈呈】→

芸術鑑賞会では、越後魚沼弦楽合奏団「アンサンブル・ムジカ・ルーチェ」様をお招きし、本格的な生の演奏を間近で楽しむことができました。

生徒はもちろん来場者も大満足の充実した雪穂祭となりました。

## ⑩家庭科授業で多様な地域連携を推進!



【米粉を使って「あんぱ」づくり】

松代高校では、地域と多様な交流を行いながら、教育活動を進めています。10月11日(水)の3年フードデザイン

の授業では、田舎体験工房の皆様にご指導をいただき、松代の郷土料理「あんぱ」をつくりました。



【園児に絵本の読み聞かせ】

また、10月23日(月)の2年家庭基礎の授業では、生徒がまつだい保育園を訪れ、絵本の読み聞かせや折り紙などで交流を行いました。生徒の地元理解や、コミュニケーション力の向上につながる活動になりました。

また、10月23日(月)の2年家庭基礎の授業では、生徒がまつだい保育園を訪れ、絵本の読み聞かせや折り紙などで交流を行いました。生徒の地元理解や、コミュニケーション力の向上につながる活動になりました。

### 参考 昨年度までの活動(現3年生)

#### 1 2年時の探究テーマ



←【古民家再生】

【ほくほく線の魅力発信】→



←【大地の芸術祭をととした地域活性化】

【棚田保全の取組】→



#### 2 修学旅行における福島県立川口高校との合同発表会



←【川口高校の発表】

【松代高校の代表グループが発表】→



#### 3 年度末の探究発表会



【まつだいふるさと会館で発表会】